

# 愛媛県今治市大西町 妙見山1号墳

—西部瀬戸内における初期前方後円墳の研究—

本古墳は、愛媛県今治市大西町に所在し、愛媛大学考古学研究室が1990年から1993年にかけて調査を行った布留0式期の前方後円墳である。後円部と前方部の竪穴式石槨、排水溝、周縁部の箱式石棺、土壙墓、墳頂部の各種儀礼土器、段築部や裾部の葺石など該期の古墳諸要素があまねく出土した。墳形、石槨構造、完全単面鏡副葬、儀礼土器（伊予型特殊器台ほか）など西部瀬戸内の初期前方後円墳の代表的なあり方を示している。

## 〈報告・論考編〉

序 文		石野博信
第一章 妙見山1号墳をとりまく環境—特に古墳のある高縄半島の地理特性について—		谷若倫郎
第二章 調査経過	下條信行・宮本一夫・加島次郎・吉田 広・三吉秀充	
第三章 調査体制と組織		下條信行
第四章 墳丘の調査	下條信行・宮本一夫・加島次郎・吉田広・三吉秀充・小野倫良・西岡早苗・中村利至久・小玉亜紀子・幸泉満夫・高山剛・平尾勝洋・竹崎真良那・田中謙・松永悦枝・西澤昌平・児玉洋志・中村昌博・権藤聡子・濱田美加・丸岡絵美	
第五章 埋葬施設の調査	宮本一夫・村上恭通・加島次郎・吉田広・三吉秀充・小玉亜紀子・渡邊芳貴	
第六章 排水溝の調査		幸泉満夫
第七章 2・3号墳の調査		田崎博之
第八章 各 論		
1 土器の出土状況と配置／2 伊予型特殊器台について／3 二重口縁壺形土器について／		
4 妙見山1号墳の時期について／5 妙見山1号墳の墳形について		下條信行
6 妙見山1号墳の葺石構築法について		加島次郎
7 石槨構造の復元		宮本一夫
8 古墳の築成と使用経過		下條信行
9 鏡の破碎について—瀬戸内における前期古墳副葬鏡に関する一考察—		村上恭通
10 妙見山1号墳1号主体部出土の赤色顔料		本田光子
11 妙見山1号墳出土人骨について		田中良之
12 妙見山1号墳出土管玉の産地分析		藁科哲男
13 西部瀬戸内における弥生時代器台の展開について—伊予地方を中心に—		松村さを里
終 章 妙見山古墳群1号墳の歴史的・地域的位置づけ		下條信行

\*

## 〈図版・資料編〉

コロタイプ写真図版 117葉

資料1 器台形土器観察表／資料2 壺形土器観察表／資料3 主体部に伴う小型土器観察表

資料4 西部瀬戸内系大形器台集成

下條信行・松村さを里編

資料5 妙見山古墳の岩石鑑定について 岩石薄片の偏光顕微鏡による観察結果報告

藤原 卓

\*

●《体裁》A4判 上製クロス（2分冊）・ケース入り

〈報告・論考編〉：カラー図版24頁・本文396頁

〈図版・資料編〉：コロタイプ写真図版117枚・観察表など62頁／ 定価14,700円